

字幕エディタ 使用方法

2015年4月13日版

京都大学 河原研究室

はじめに

- 字幕システムのエディタは、字幕用に設計されたJavaベースの編集環境です
 - 字幕と時刻の編集できるラインエディタ
 - 音声波形の表示による時刻調整
 - 音声の可変速再生機能, 行単位再生
- 編集のフェーズに応じて**通常版**と**プレビュー版**があります
- 利用者の都合にあわせて、**オンライン**(Webブラウザ上)で起動することも、**オフライン**アプリケーションとして実行することもできます

Javaの設定

- 字幕エディタには **Java (JRE)** が必要です
- 最新のバージョンにアップデートして下さい
- オンラインエディタでは設定が必要です
 - 有効な署名がJavaアプレットに付与されていないため、ブラウザで動作がブロックされます
 - これを解除するために、Javaのセキュリティ設定で例外サイトに字幕システムのサーバを登録して下さい
(Windowsではコントロールパネルに設定があります)
 - エディタ起動時にセキュリティ警告が表示されますが、続行して下さい

オンラインとオフラインの違い

- オンラインでは
 - 字幕システム(サーバ)とリアルタイムで通信して音声・字幕データの取得と更新を行います
 - サーバ上の字幕ファイルは常に最新の内容になります
- オフラインでは
 - 字幕システム(サーバ)とは通信しません
 - 手元にある音声とXMLのファイルを使用して編集します(したがって更新されるのはこのXMLファイルのみです)
 - SRT等の字幕ファイルは, このXMLをサーバにアップロードすることで更新されます(後述)

オンラインのエディタの起動

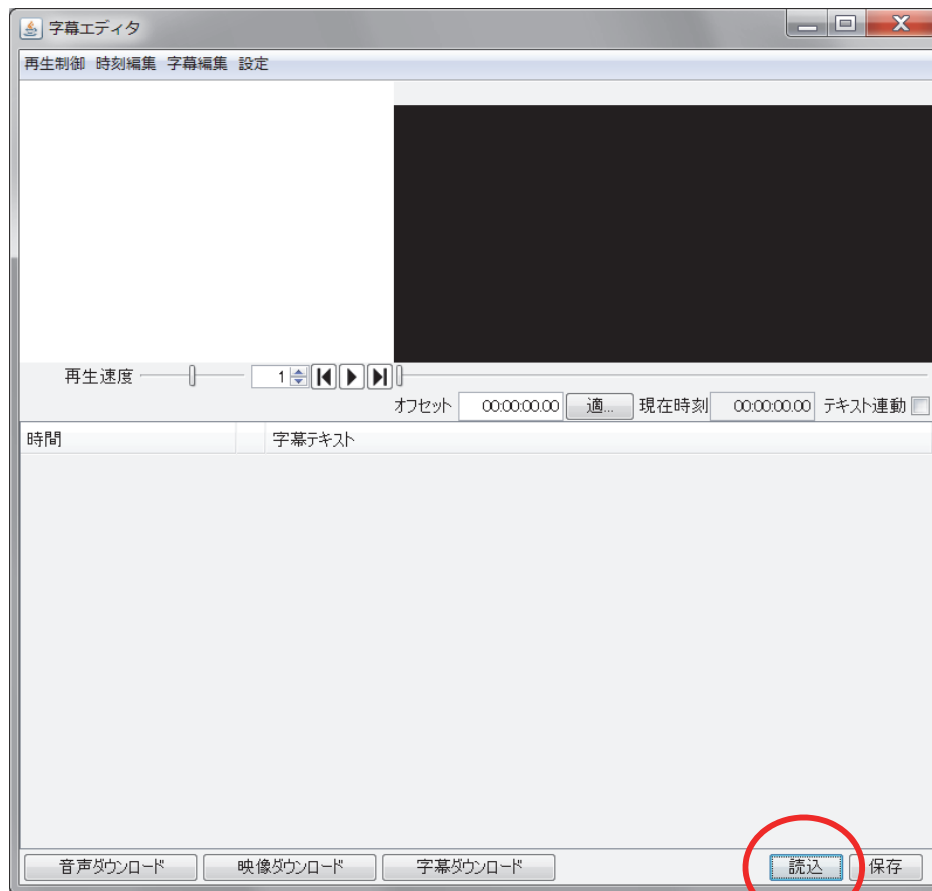


- 字幕システムの処理終了画面から起動します
- Javaアプレットがダウンロードされて、ブラウザ上で実行されます
- 起動時に、一時的なデータを置くフォルダを指定します
- IDに対応する音声と字幕データが自動的に読み込まれます

オフラインのエディタの起動

- JARファイルをクリックすると起動します
 - CaptionEditorClient.jar
(通常版エディタ)
 - CaptionEditorClientPreview.jar
(プレビュー版エディタ)
- 起動後に音声とXMLのファイルを読み込んで下さい(次頁)

ファイルの読み込み(オフライン)



- 読み込ボタンを押して、まずXMLファイルを指定して読み込みます
- IDの一致する音声(WAV)ファイルがある場合は自動的に読み込まれます
- ない場合は音声ファイルの指定画面になるので、対応するWAVファイルを指定して読み込んで下さい
- 音声のチェックが厳密なため、正しいファイルでも「サイズが違う」という警告が出ることがあります

編集の流れ

- まず**通常版**で編集します
 - 各行の再生ボタンで当該行の音声を再生
(必要に応じて再生速度を遅くする)
 - 改行の調整・字幕テキストの修正
- ほぼできあがったら**プレビュー版**で確認
 - 表示タイミングの微調整
 - テキスト修正漏れのチェック
 - 再生速度を速めるとより迅速に作業可能

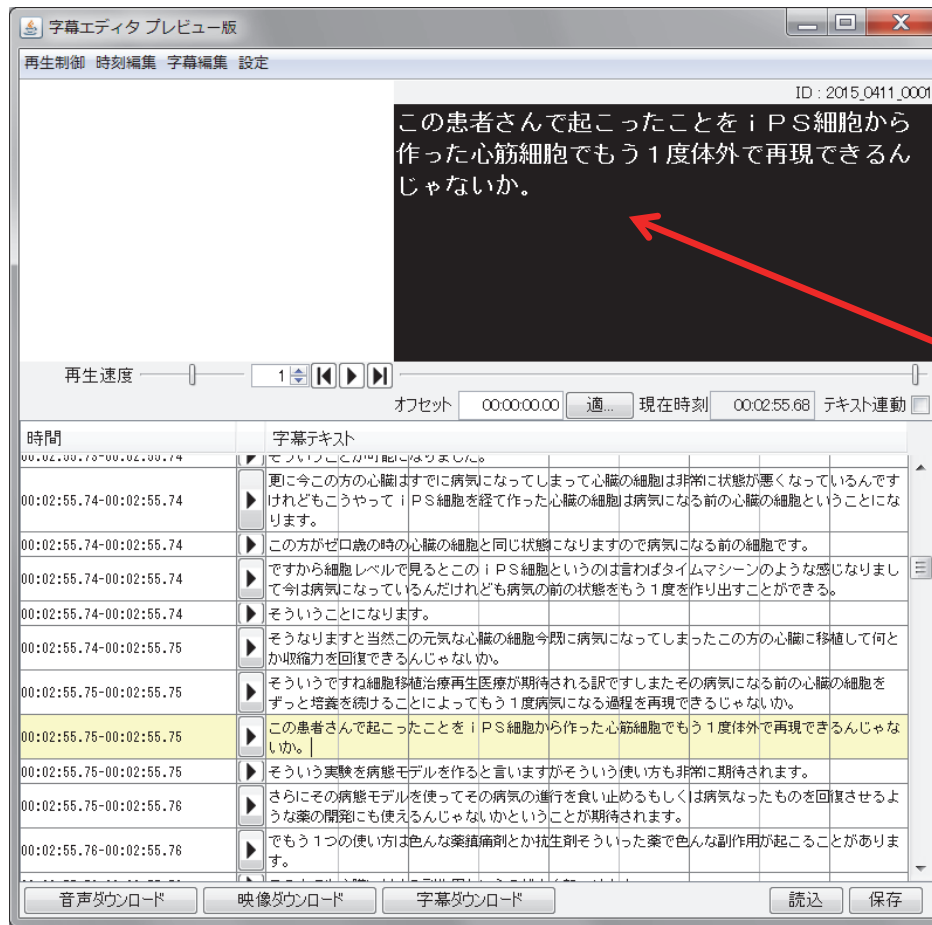
通常版の機能



- 再生制御
- 表示時刻の編集
- 字幕テキストの編集
- 波形表示(時刻操作可)
- サムネイル(オンライン版で映像がある場合のみ)
- 基準時刻のシフト
- 字幕の保存
- 各ファイルのダウンロード(オンライン版のみ)

オンライン版のみ

プレビュー版の機能



- 使い方は通常版とほぼ同様ですが、字幕の確認（プレビュー）を目的とした設計です
- 音声波形の代わりに字幕テキストが表示されます
- 音声を再生すると、タイミングに合わせて字幕が表示されていきます

キーボードショートカット

- エディタの操作はマウスの他にキーボードショートカットで行うことができます
- キーボードショートカットは、好みの設定を保存しておくことができます
 - エディタのメニューから読み込み・保存ができます
 - preference.txt を参照して下さい

字幕の保存

- 字幕の編集を終える際は、保存ボタンを押して確実に保存して下さい
 - 定期的に自動保存されていますが、編集の直後にウィンドウを閉じると、この編集結果が保存されない可能性があります
- オフラインで保存したXMLファイルは、オンラインのエディタで(読込ボタンから)読み込むとサーバにアップロードすることができます
 - SRT等の字幕ファイルもこの際に更新されます
 - 更新された字幕ファイルはオンラインエディタや処理終了画面からダウンロードできます